

防災学術連携体総会を日本建築学会会議室にて開催（6月5日）

現在の防災学術連携体には56学会が会員として参加し、各学会から選任された114人の防災連携委員、日本学術会議の会員・連携会員から選任された21人の特任会員によって総会が構成されています。この中から22名の幹事が選任され、幹事の互選により役員が選出され、活発な活動が始まっています。

代表幹事：米田雅子、古谷誠章、副代表幹事：目黒公郎、小井土雄一、

運営幹事：和田 章、依田照彦、事務局長：田村和夫、小野寺篤、監事：森口祐一

主担当学会・副担当学会は、発足時（2016年1月）の土木学会・日本建築学会から、日本建築学会・日本災害医学会に引き継がれました。

総会の資料はこちらから閲覧可能です：https://janet-dr.com/010_about/015_about.html



日本学術会議 防災減災学術連携委員会の動き

防災学術連携体と連携をとるために、23期に日本学術会議に設けられた「防災減災・災害復興に関する学術連携委員会」の活動が24期に継続され、名称を変更し「防災減災学術連携委員会」として活動しています。委員は第一部（人文・社会科学）、第二部（生命科学）、第三部（理学・工学）の全分野から20名が選任され、委員長：米田雅子、副委員長：三木浩一、幹事：田村和夫、目黒公郎によって運営されています。

委員名簿：https://janet-dr.com/060_event/20180605/001_meibo01.pdf

ポスター：https://janet-dr.com/010_about/011_about/janet_scj.pdf

防災減災学術連携委員会ホームページ：<http://www.scj.go.jp/ja/member/iinkai/saigairenkei/saigairenkei.html>



防災減災学術連携委員会主催 第1回「防災に関する日本学術会議・学協会・府省庁の連絡会」を開催（6月5日）

日本学術会議の防災減災学術連携委員会、防災学術連携体の56学会、防災に関わる府省庁の担当者が一堂に集まる初めての連絡会が、新聞社・テレビ局の取材もあり、盛会のうちに開催されました。学術分野と行政の平常時の連携を強めるとともに、緊急時のスムーズな連携活動を図ることを目的として、毎年開催する

予定です。

詳細(資料含む)：https://janet-dr.com/060_event/20180605.html

防災学術連携体と防災減災学術連携委員会の今後の共催計画

1) 第3回防災推進国民大会において、第6回防災学術連携シンポジウム・日本学術会議公開シンポジウムを開催します

日時：平成30年10月13日（土）16時30分～19時 場所：東京ビックサイト 国際会議場（定員：1000名）

テーマ：「あなたが知りたい防災科学の最前線—首都直下地震に備える」（仮案）

趣旨：地域の防災力の強化に科学を役立てるため、市民の皆様が知りたい防災科学の最前線をわかりやすく伝える。市民の皆様から、防災科学に関する質問やリクエストも受け付け、各分野の研究者がそれに答える。

2) 第7回防災学術連携シンポジウム・日本学術会議公開シンポジウムを開催します

日時：平成30年12月下旬～平成31年1月上旬 場所：日本学術会議講堂

テーマ：「豪雪に備える」（仮案）

趣旨：局地的に発生する豪雪のメカニズムとその対応に関する議論

防災学術連携体幹事・事務局長

田村和夫（日本学術会議連携会員）

小野寺篤（日本建築学会 事務局長代理）

website@janet-dr.com

担当：麓 絵理子（フモト エリコ）、小野口弘美（オノグチ ヒロミ）

・ニュースレターの配信依頼、配信解除もここにご連絡